

編集・発行
関東農政局茨城県拠点地方参事官室

〒310-0061 茨城県水戸市北見町1-9
TEL: 029-221-2185 Email: ibaraki_sanji1@maff.go.jp

CONTENTS



今月のいばらきスナップ 

- <TOPICS>
- 令和7年10月から「作況単収指数」が導入されました！
 - 令和6年度食料自給率を公表しました！
 - 茨城県拠点副地方参事官の一口メモ 第3回
 - 米生産者向けの生産意向アンケートの調査結果を公表しました！
 - 花瓶山の希少植生等の保全に係る現地検討会に参加しました！
 - 豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします！
- <EVENT>
- 「スマート農業推進フォーラム 2025 in 関東」開催！
 - 「農業リーダーズサミット2025」 **参加者募集中**

TOPICS

令和7年10月から「作況単収指数」が導入されました！

※単収（単位面積あたりの収量）

作況単収指数は、令和7年10月から農林水産省が新たに導入する、水稻（コメ）の出来具合を示す指標です。こちらは、従来の「作況指数」に代わるものです。

■ これまでの経緯

従来の作況指数は、過去30年間の平均収量と当年の収量を比較して算出されてきました。

しかし、近年の温暖化や猛暑の影響が反映されにくく、生産現場の実感と乖離しているとの指摘がありました。

そのため、農林水産省はより実態に即した指標として「作況単収指数」を導入することを決定しました。



■ 作況単収指数の算出方法



対象作物：主に水稻（コメ）

算出式：直近5年間の収量データから、最も多かった年と最も少なかった年を除いた3年間の平均収量を算出。その平均値と、当年産の10アール当たり収量を比較して指数化します。

これにより、極端な豊作・凶作の影響を排除し、より安定した比較が可能になります。



■ 特徴と利点

現場の実感に近い指標となることを目指している。

温暖化などの気象変動の影響を反映しやすい。

「単収」に焦点を当てており、作付面積の変化による誤解を避ける工夫がされています。

■ 茨城県の令和7年産水稻の予想収穫量（9月25日現在）

10月10日農林水産省公表

10アール当たり収量（見込み）：510kg（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

対前年比：98%

こちらは、全もみ数が前年を下回る地域があったことが見込まれていることを示しています。

くわしくはこちらをチェック関東農政局HP



TOPICS

令和6年度食料自給率を公表しました！



農林水産省は、我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、食料自給率を毎年公表しています。

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。

令和6年度食料自給率は、

カロリーベースで **38%**（前年度並み）

生産額ベースで **64%**（前年度+3ポイント）

摂取熱量ベースで **46%**（前年度+1ポイント）

目標とする食料自給率は、

令和12(2030)年度までに

カロリーベースで **45%**

生産額ベースで **75%**



農林水産省HP



日本の
食料自給率

食料自給率を向上させるための取組み

- ・旬の食材や国産の食材を積極的に選ぶ
- ・米を中心としたバランスの取れた日本型食生活を心がける
- ・食品ロスを減らす ・地産地消を推進する
- ・スマート農業の導入などによる農業生産力を向上 など

TOPICS

茨城県拠点副地方参事官の一口メモ

第3回／全5回

輸出の促進(新たな食料・農業・農村基本計画)

令和7年4月11日に、新たな食料・農業・農村基本計画（以下「新たな基本計画」）が閣議決定されました。

本稿では、今回策定された基本計画の内容について、全5回にわたりお届けします。

今回は、新たな基本計画に位置付けられた「**輸出の促進**」について紹介します。

国内の人口減少にともなって食料需要の減少が見込まれる中、国内への食料供給に加え、今後成長する海外の食市場を取り込み、農林水産物・食品の輸出の促進などにより「海外から稼ぐ力を強化」することで、農業生産の基盤、食品産業の事業基盤などの食料供給能力を確保します。

具体的には、

- ・輸出拡大などにより、海外から稼ぐ力を強化するため、マーケットイン・マーケットメイクの観点からの新たな輸出先の開拓、輸出産地の育成、国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進
 - ・食品産業の海外展開やインバウンドによる食関連消費の拡大による輸出拡大との相乗効果の発揮
- などを図っていきます。

新たな食料・農業・
農村基本計画の
ポイント



新たな食料・農業・
農村基本計画における
主な目標・KPI



橋本
副地方参事官

TOPICS

米生産者向けの生産意向アンケートの調査結果を公表しました！

農林水産省は、今後の米政策を検討するに当たり、米の生産者（販売農家、農業法人その他経営体）を対象に、今後（来年・5年後・10年後）の米の生産意向等に関するアンケートを実施しました。

20代から80代までの幅広い年齢層から 8,095件の回答をいただきました。



農林水産省HP



アンケート結果はこちらから

TOPICS

花瓶山の希少植生等の保全に係る現地検討会に参加しました！～久慈郡大子町大字上野宮字八溝国有林～

林野庁 関東森林管理局 茨城森林管理署主催において、「花瓶山（はななかめやま）の希少植生等の保全に係る現地検討会」が開催され、当拠点も参加しました。



現地検討会は、県や市町の森林部局担当者等の52名が参加し、大子町の国有林において、希少な自然植生を保全し、二ホンジカ等の野生鳥獣による食圧の推移を把握するため、獣害防護柵を試行的に設置することについて、説明がされました。



午前の部は、希少個体群保護林について説明を受けた後、獣害防護柵を設置してある現場で、資材や道具、設置方法等の説明を受けながら資材製造業者による実演を見学しました。



午後の部の参加者による獣害防護柵設置では、参加者の多くは森林・林業関係者であったため、傾斜のある現場にも関わらず、スムーズに作業を進めていました。



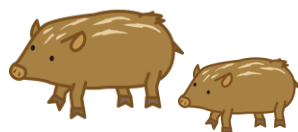
参加者からは、防護柵が破損した際の修理の方法や設置についての質問があり、関心の高さがうかがえました。

今後は、獣害防護柵を設置することにより、被害拡大後の植生回復の有無を判断するなど対策とその効果を分析し、他の保護林や民有林での活用も含め関係者一同保全対策の充実を図られます。

TOPICS

豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします！

野生いのししの間で豚熱という病気が広がっています。秋の行楽シーズンで山林に行く皆様におかれましては、**豚熱対策へのご協力**をお願いします。



具体的な対策方法は、右の二次元バーコードからご覧ください。

農林水産省HP

「スマート農業推進フォーラム 2025 in 関東」

開催！

スマート農業技術の現場実装に向け、**12月2日（火）**に「スマート農業推進フォーラム2025 in 関東」をつくば市の農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター「つくば農林ホール」で開催します。



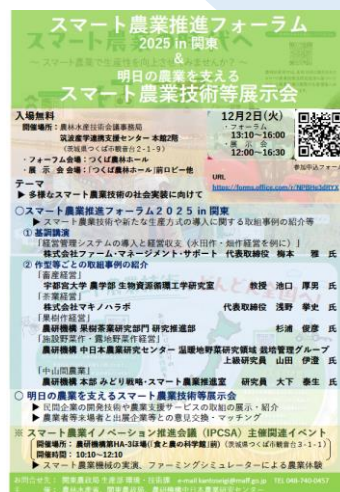
農林水産省HP

本フォーラムでは、スマート農業技術の導入に係る 農林水産省
経営面にも視点を当てつつ、「多様なスマート農業技術
の社会実装に向けて」をテーマに、取組事例の紹介等を行います。

また、「明日の農業を支えるスマート農業技術等展示会」を開催し、民間企業の開発技術及び農業支援サービス事業体の取組の展示・紹介、並びに農業者等来場者との意見交換・マッチングを行います。スマート農業機械の実演等もあります。

申込期限
募集人数

令和7年11月26日（水）12時まで
300名（先着順）



EVENT

**「農業リーダーズサミット2025－変革の時代を
生き抜く地域農業の在り方－女性登用の意義」
(参加者募集)**

～地域農業における女性登用の意義やヒントを探ります～

農林水産省では、農業分野における女性登用の取組を進めています。

この一環として、**令和7年11月27日（木曜日）**に、「農業
リーダーズサミット2025ー変革の時代を生き抜く地域農業
の在り方ー 女性登用の意義」（事業実施主体：株式会社
マイファーム）を開催します。



農林水産省HP

地域農業を率いる農業委員会会長・農業委員、農協役員、土地改良区理事、自治体関係者、農業経営者など、地域農業の在り方や農業界での女性登用について興味をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。



TOPICS

広報アンケートにご協力ください！

今後の広報紙づくりの参考とさせていただきますので、
ぜひ率直なご意見をお寄せください。

こちらのアンケートフォームよりご回答ください。

<https://forms.office.com/r/4rn7F5DvcY>



地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたら
お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。
また、広報紙に関するご意見等もお待ちしております。

TEL:029-221-2185

お問い合わせフォーム 茨城県拠点HP

